



～「世界に開かれた徳島」を目指して！～ SDGs 先進県・徳島を世界へ発信するレセプション

徳島県生活環境部生活環境政策課国際交流室 荒木 諒

外務大臣・徳島県知事共催レセプション

2024年3月13日、外務省飯倉公館において、地方の魅力の世界に発信するプロジェクトとして、外務大臣および徳島県知事共催で「SDGs 先進県・徳島を世界へ発信するレセプション」を開催し、各国大使をはじめとする約80カ国の駐日外交団、駐日外国商工会議所、本県関連企業、本県関係国会議員など約230人にお越しいただきました。

会の冒頭、上川陽子外務大臣、クレーメンス・フォン・グッツェ・ドイツ駐日大使、後藤田正純徳島県知事がそれぞれあいさつを行い、後藤田知事は若者の海外派遣や学生交流をはじめ、地方が海外と直接つながる「インターローカル」な地域外交を推進し、「世界に開かれた徳島」を実現する決意を述べました。



鏡開きの様子

徳島県の魅力をPR

レセプションでは徳島県の魅力を「ナチュラル（自然）」「サステナブル（持続可能性）」「ヒストリカル（歴史・文化）」にカテゴリー分けしPRを行いました。

「ナチュラル」な魅力では、参加者に雄大な自然に育まれた食事や飲料をお楽しみいただきました。その中でもフードダイバーシティの観点から、全国的にも希少

なハラール認証を取得した牛肉（本県企業取扱商品）を用いた料理などを提供し、多くの関心を集めました。



徳島の特色あるハラール食品のPR

また、「サステナブル」な魅力では、ゴミを減らすのではなく、ゴミを生み出さないことを目指す「ゼロ・ウェイスト宣言」を日本の自治体で初めて行った上勝町の取り組みや、世界各国が手を取り合い消費者課題解決に向けた「とくしま国際消費者フォーラム」の開催などを紹介しました。

その他、本県関連企業にも協力をいただき、各企業のSDGsに関する取り組みについて紹介しました。



徳島県企業のSDGsに関する取り組み紹介

最後に「ヒストリカル」な魅力として400年の歴史を誇る阿波おどりのステージパフォーマンスを披露しました。

このステージパフォーマンスでは、マドンナの専属ダンサーも務めた世界的ダンサー ケント・モリ氏と阿波おどり連のコラボレーションダンスも披露しました。

ケント・モリ氏には阿波とくしま観光大使に就任していただいております。阿波おどりの要素を加えたオリジナルダンスでは、会場が一体となる盛り上がりを見せ、世界に向けて阿波おどりの新しい可能性を発信する素晴らしい機会となりました。



ケント・モリ氏と阿波おどり連のコラボレーションダンス

若者の国際経験の創出

本県ではさまざまな機会を捉え、若者の国際性を養う機会を創出しており、本レセプションへも県内の高校生が参加しました。

参加した高校生は、伝統工芸の継承や環境に配慮した製品開発として、自身が作成した藍染製品や間伐材を使用した木工製品などを紹介しました。通訳も高校生自身が務め、実践の場で生きた英語を活用する場となりました。



高校生による伝統工芸継承などの取り組み紹介

レセプション後には「日頃触れ合うことのない外国の方に徳島の伝統工芸を英語で紹介する貴重な機会になった」との声も聞かれ、参加した高校生にとって有意義な時間となりました。

PR 内容一覧

ナチュラル（自然）

- 県産食材を用いた料理・飲料の試食・試飲
- 「すだち・ゆず・ゆこう」三大香酸かんきつ
- 徳島のハラル食品
- 半田そうめん
- 写真家大杉隼平氏の徳島の風景写真
- 観光プロモーション

サステナブル（持続可能性）

- エシカル消費
- ペットボトルの資源循環水平リサイクル
- ゼロ・ウェイストセンター（上勝町）
- ビッグひな祭り（勝浦町）
- 阿波製紙株式会社
- さとの雪食品株式会社（四国化工機グループ）
- 株式会社セツロテック
- WOTA 株式会社

ヒストリカル（歴史・文化）

- 阿波おどり
- 阿波藍
- 阿波和紙
- 阿波人形浄瑠璃

若者の参画

- 高校生による伝統文化継承など
- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会ホストタウン交流
- 大阪・関西万博

おわりに

参加者からは、「徳島県は素晴らしいところだと感じた、必ず訪れたい」「徳島の素晴らしい自然、豊かな文化、そして温かいおもてなしを体験することができた」といった多くの嬉しい声が聞かれ、今回のレセプションは本県の魅力を世界へPRする絶好の機会となりました。

引き続き、世界に本県の魅力をPRし、県産品の輸出拡大やインバウンド需要拡大につなげると同時に、本県のアウトバウンド需要も拡大し、一方通行ではなく、「双方向の地域外交」を推進し、「世界へ開かれた徳島」を目指してまいります。